

個人投資家さま向け 会社説明会資料



イオンフィナンシャルサービス

取締役 グループ経営企画担当 木坂 有朗

証券コード 8570（東証プライム・その他金融）

2022年10月14日

I. イオンフィナンシャルサービスについて

II. 経営環境と成長戦略

III. 業績予想と配当

IV. ご参考

I . イオンフィナンシャルサービスについて

会社概要

設立	1981年6月20日
代表者	代表取締役社長 藤田 健二
連結営業収益	4,706億円（2021年度）
連結営業利益	588億円（2021年度）
連結従業員数	16,089人（2021年度）
時価総額	3,093億円（2022年9月末）
株価 / 単元株式数	1,432円（2022年9月末） / 100 株
PER（予想） / PBR	10.7~11.5倍 / 0.71倍（2022年9月末）
決算期	2月期

■ 格付情報

格付機関	長期	短期
日本格付研究所（JCR）	A（安定的）	J-1
格付投資情報センター（R&I）	A-（安定的）	A-1

金融サービスを通じ、お客さまの未来と信用を活かす生活応援企業

基本方針

お客さま第一

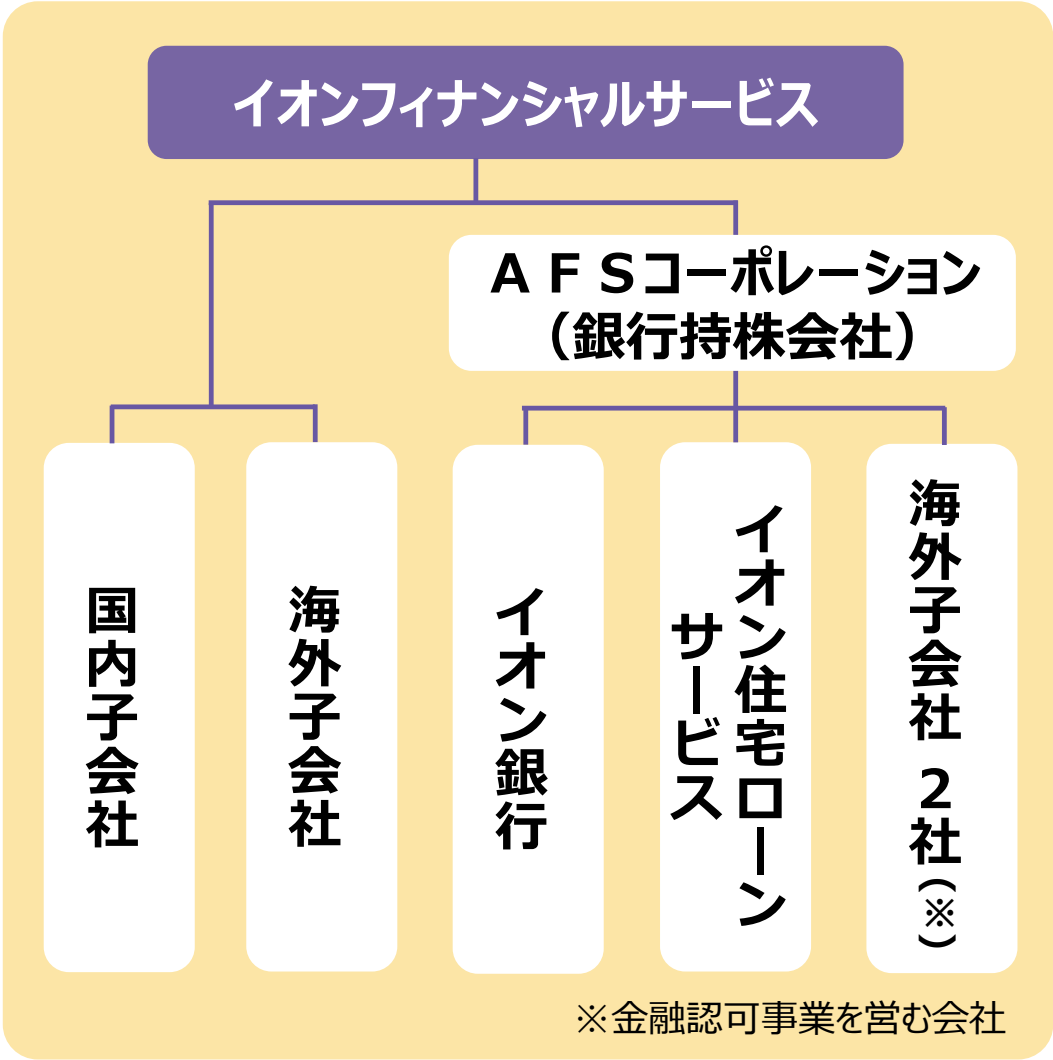
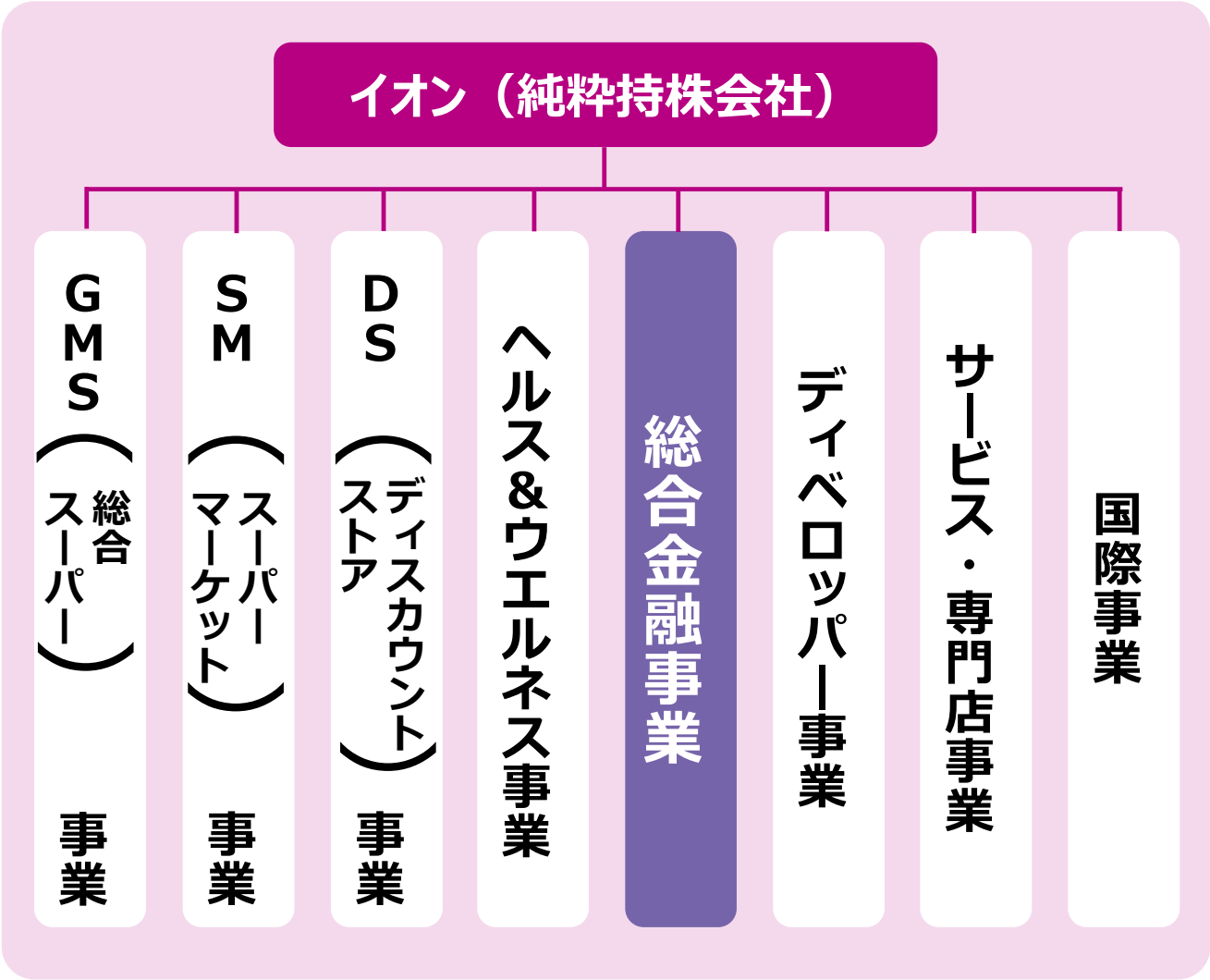
生活に密着した
金融サービスの提供

社会の信頼と
期待に応える

活力あふれる
社内風土の確立

会社概要

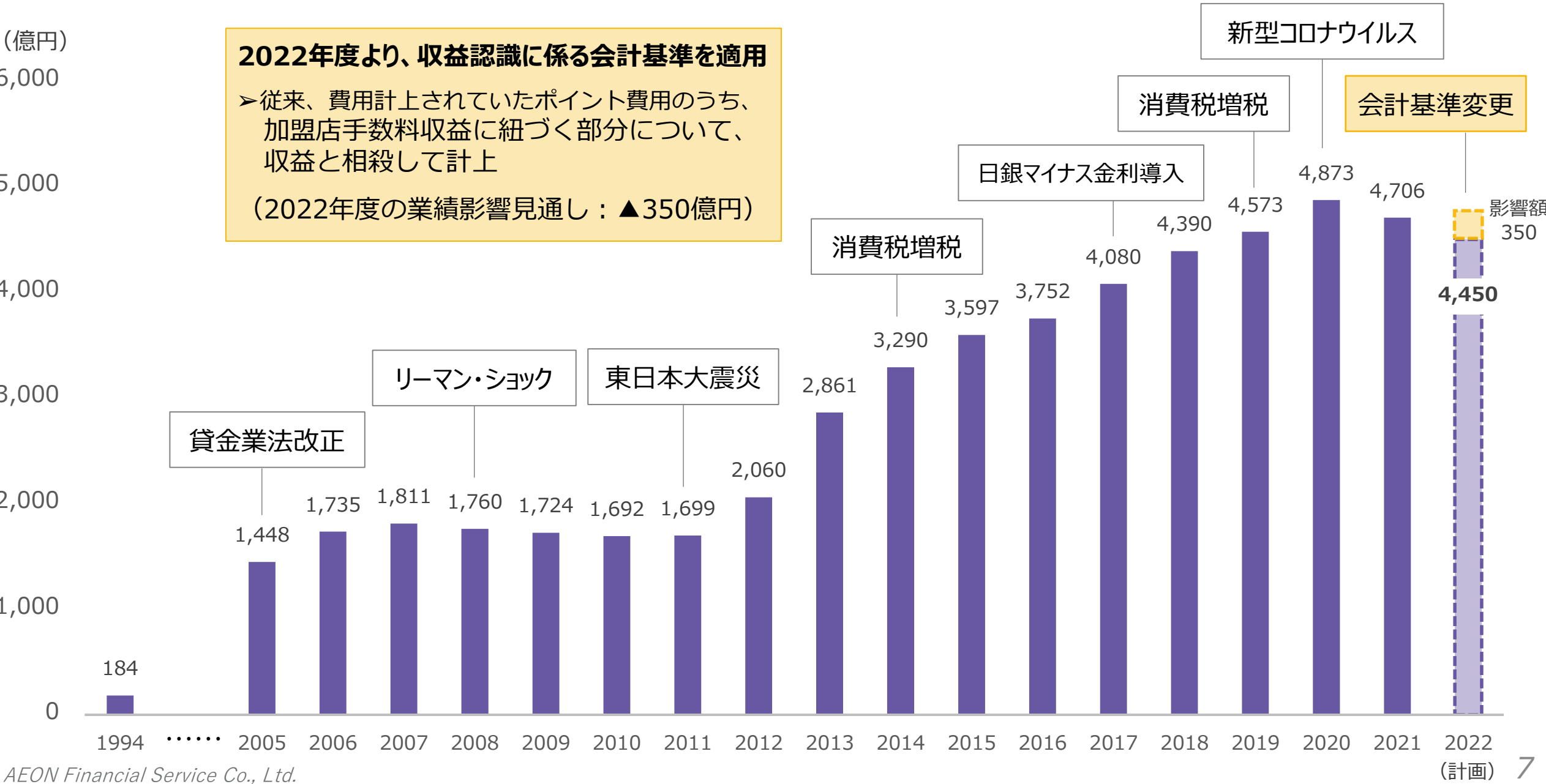
当社は、イオングループの総合金融事業を担い、日本を含むアジア11カ国・地域で事業を行う、小売業発の総合金融グループです。



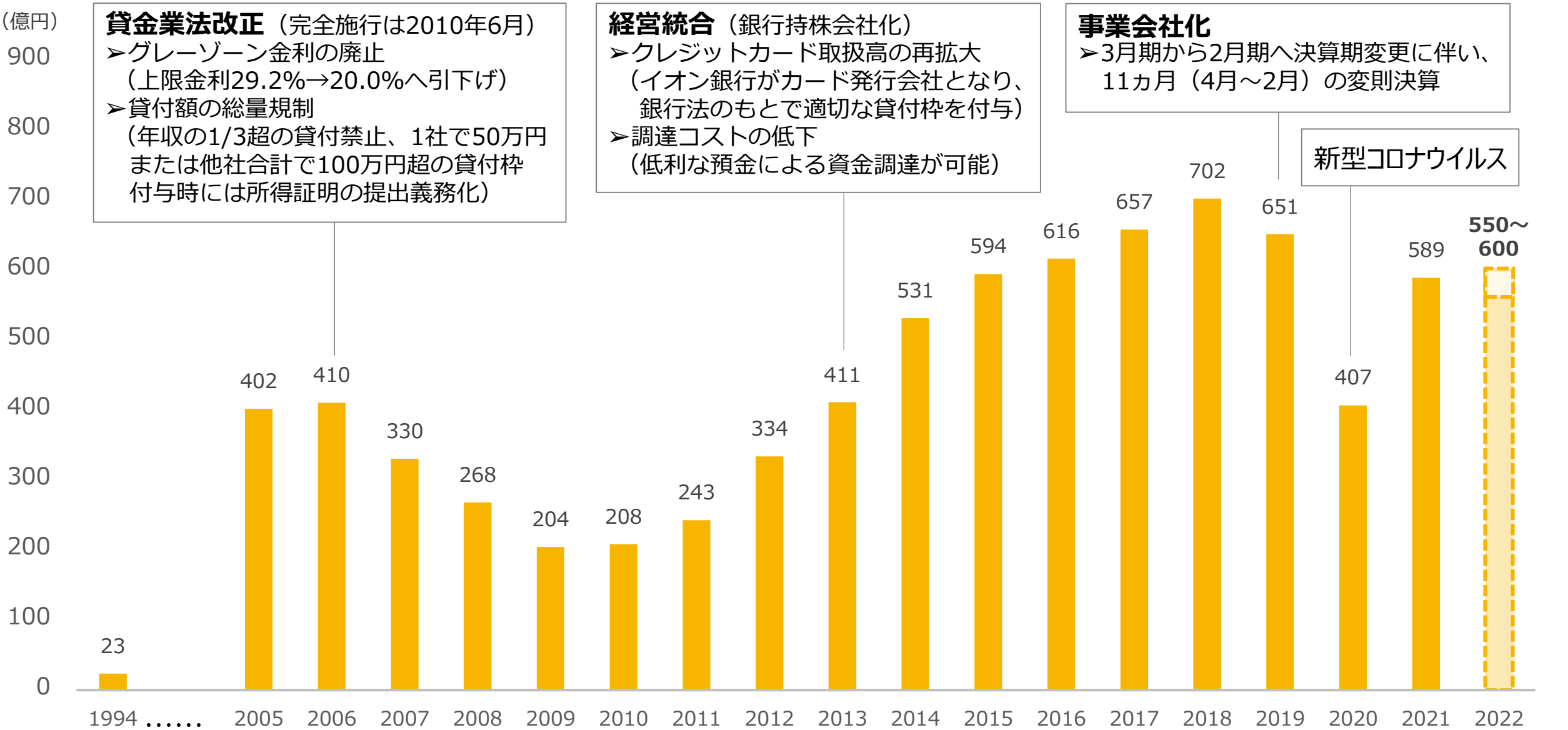
- 1981 会社設立（旧：日本クレジットサービス株式会社）
- 1987 香港に支店設立、海外展開スタート ●————● 1995 香港取引所上場
- 1992 タイに現地法人設立 ●————● 2001 タイ取引所上場
- 1994 株式店頭登録、イオンクレジットサービス株式会社に社名変更
- 1996 東証二部上場 / マレーシアに現地法人設立 ●————● 2007 マレーシア取引所上場
- 1998 東証一部上場
- 2003 業界初、年会費無料のゴールドカードを発行
- 2007 イオン銀行開業
- 2009 キャッシュカード・WAON一体型 ●————● 「イオンカードセレクト」を発行
- 2013 イオン銀行と経営統合、銀行持株会社体制へ移行
イオンフィナンシャルサービス株式会社に社名変更
- 2016 イオンカード公式アプリ「イオンウォレット」のサービス開始
- 2019 イオンフィナンシャルサービス(株)の銀行持株会社から事業会社への移行
- 2020 イオン・アリアンツ生命保険株式会社設立
- 2021 イオンのトータルアプリ「iAEON」に、コード決済サービス「AEON Pay」機能を搭載



連結営業収益の推移



連結営業利益の推移



当社の強み /イオングループの活用

イオングループの総合力：約300社



イオン北海道株式会社
1996年、JASDAQに株式公開。
1998年、東証第2部・札幌に同時上場し、
2000年に東証第1部へ。北海道を地盤とする総合小売業。

イオン九州株式会社
2000年、JASDAQに株式公開。
九州を地盤とする総合小売業。



サンデー
ホームセンター
1995年、JASDAQに株式公開。
青森県を中心に東北を地盤とするホームセンター。

U.S.M.H
ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社
2015年、東証第1部に上場。
首都圏を拠点としたスーパーマーケットである街マルエツ、美カスミ、マックスバリュ関東圏を傘下を持つ共同持株会社。



ミニストップ株式会社
1993年、東証第2部に上場し、
1996年に第1部へ。ファストフードを組み合わせたコンビニエンスストア。



マックスバリュ西日本株式会社
1997年、大証第2部に上場。
2013年、市場統合により東証第2部へ。
西日本を地盤とするスーパーマーケット。

マックスバリュ東海株式会社
2004年、東証第2部に上場。
静岡県を中心に中部・西関東を地盤とするスーパーマーケット。

マックスバリュ九州株式会社
2012年、JASDAQに上場。
九州を地盤とするスーパーマーケット。



イオンフィナンシャルサービス株式会社
1996年、東証第2部に上場し、1998年に第1部へ。カード事業を中心に金融サービスをグローバルに展開する金融持株会社。

AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
1995年、香港証券取引所に上場。
イオンフィナンシャルサービスの香港現地法人。

AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC.
2001年、タイ証券取引所に上場。
イオンフィナンシャルサービスのタイ現地法人。

AEON CREDIT SERVICE (M) BERHAD
2007年、マレーシア証券取引所に上場。
イオンフィナンシャルサービス系のマレーシア現地法人。



イオン株式会社
1974年、東証・大証・名証第2部に同時上場し、
1976年に上記の3取引所第1部へ。
2004年より東証のみ上場。
2008年8月に純粋持株会社体制へ移行。



ウエルシアホールディングス株式会社
2001年、JASDAQに株式公開し、
2004年、東証第2部に上場。
2008年9月に持株会社体制へ移行。
2012年に東証第1部へ。
調剤併設型ドラッグストア。



イオンディライト株式会社
1999年、東証第2部に上場し、
2000年に第1部へ。施設の管理運営に関する最適なサービスを提供するFM（ファシリティマネジメント）企業。



株式会社ジーフット
2000年、前身である靴ツルヤ靴店が名証第2部に上場。2015年に東証第1部に上場、
名証第1部へ。足元からのスタイルを提案する靴専門店。



AEON Stores (Hong Kong) Co., Limited
1994年、香港証券取引所に上場。
香港を代表する総合小売業。

AEON CO. (M) BHD.
1996年、クアラルンプール証券取引所メインボードに上場。マレーシアを代表する総合小売業。



イオンモール株式会社
2002年、東証第1部に上場。
多機能複合型商業施設を開発する商業ディベロッパー。



株式会社イオンファンタジー
2002年、JASDAQに株式公開。
2003年、東証第2部に上場し、
2005年に第1部へ。
ショッピングセンター内で、ファミリー向けアミューズメント施設とインドアプレイグラウンドを展開。



株式会社コックス
1990年、JASDAQに株式公開。
カジュアルファッション専門店。

お得なグループ特典

毎月**20日・30日**

お客さま感謝デー

カードでおトク! **5% OFF**

各種イオンマークのカードでのお支払い(クレジット・WAON)

イオンシネマの映画料金がいつでも
1,000円（税込）
※イオンカード（ミニオンズ）会員特典



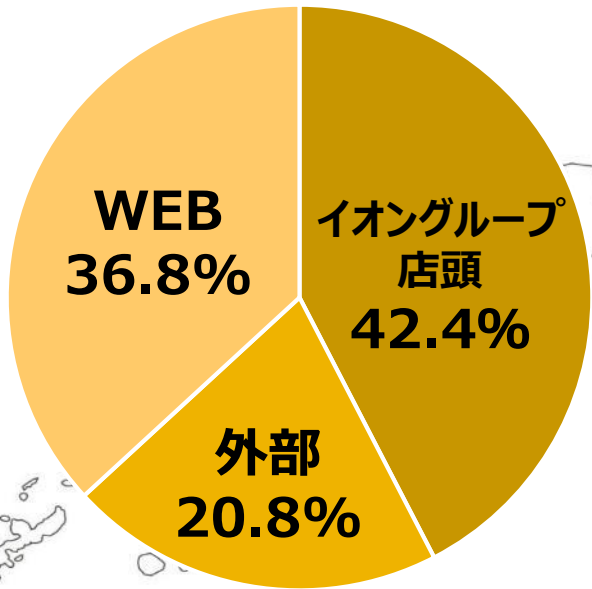
当社の強み / 豊富なチャネル

イオン店舗
17,322店
(内、国内16,104店)

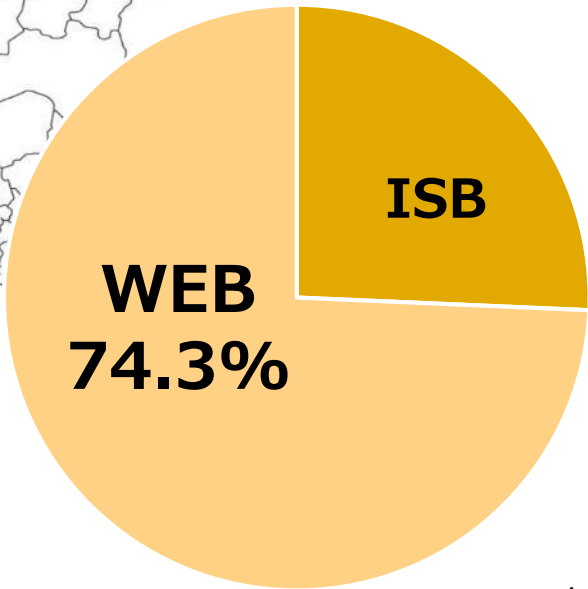
イオン銀行店舗
(ISB)
143店

イオンのほけん
相談店舗
116店

カード会員獲得



住宅ローン事前受付



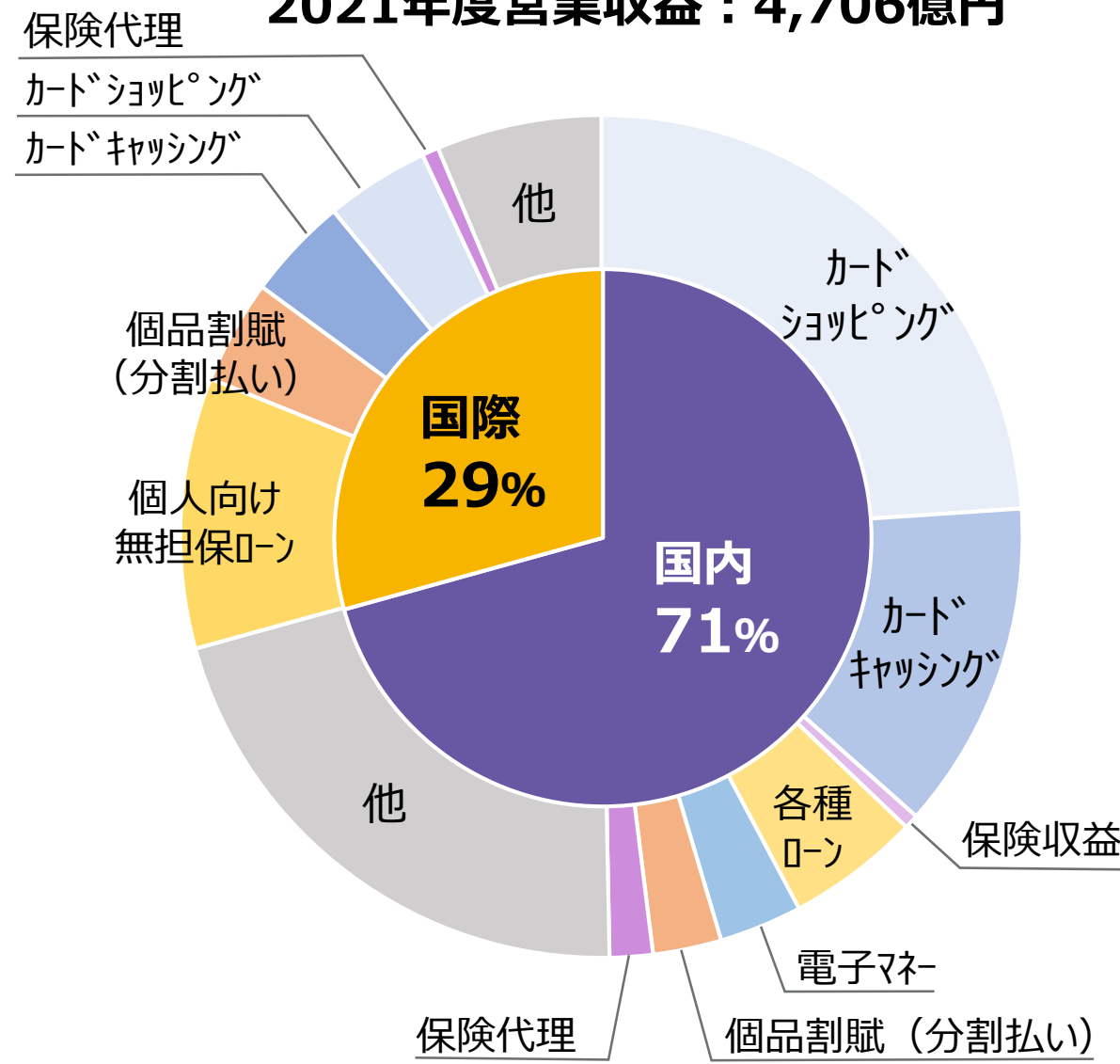
当社の強み / 圧倒的な海外展開

日本含む11カ国・地域に事業を展開

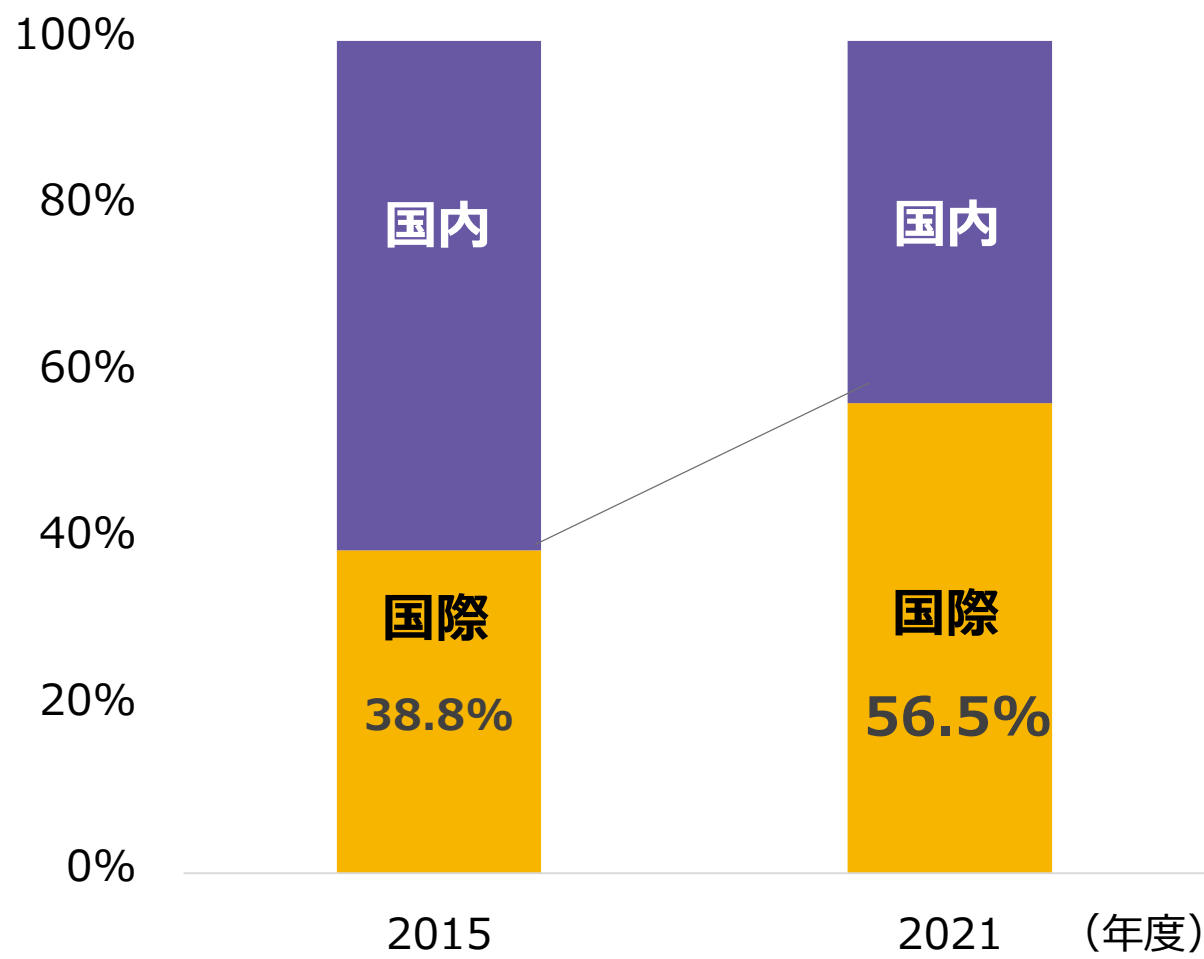


当社の収益構造と利益構成比

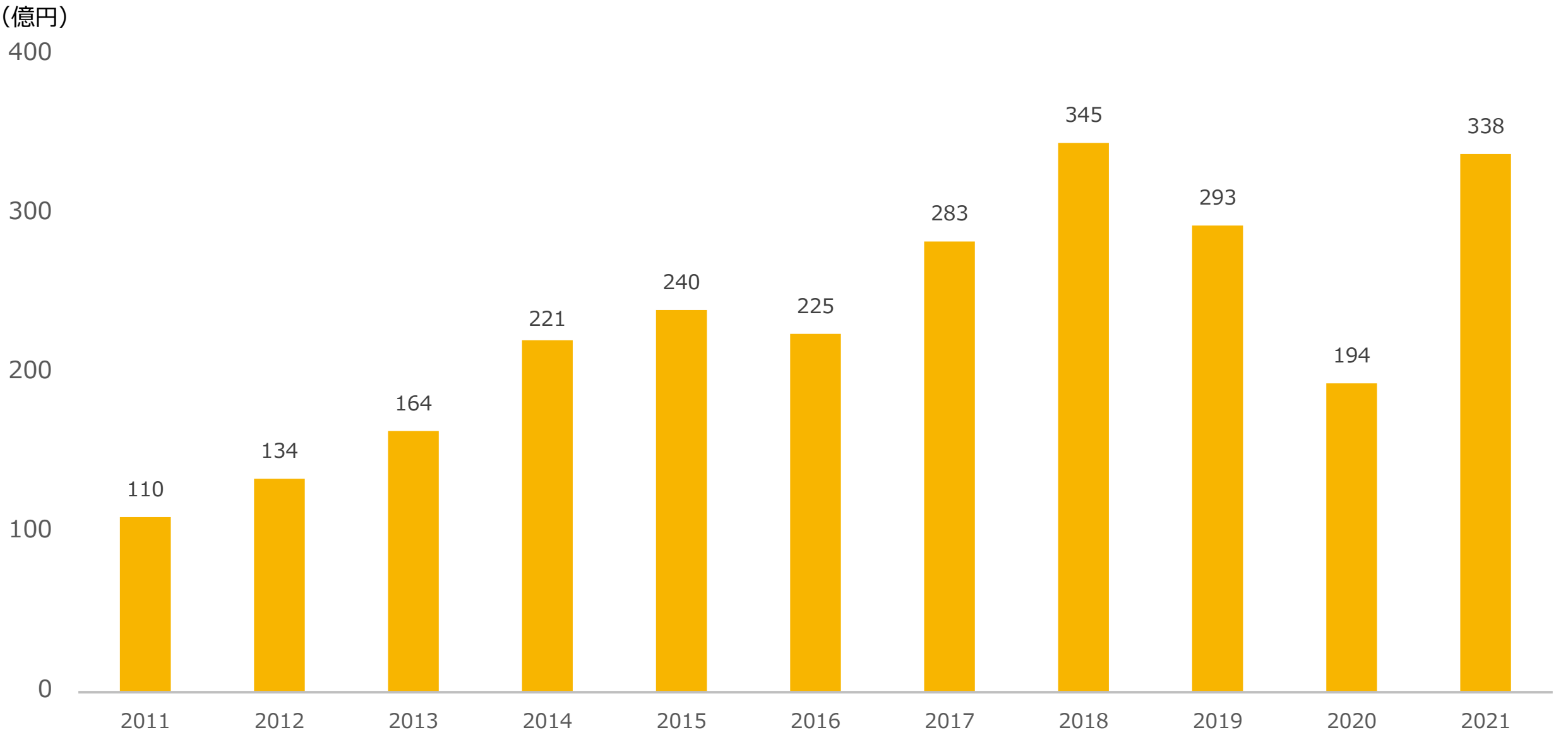
2021年度営業収益：4,706億円



営業利益構成比



直近10年の国際事業の営業利益の推移



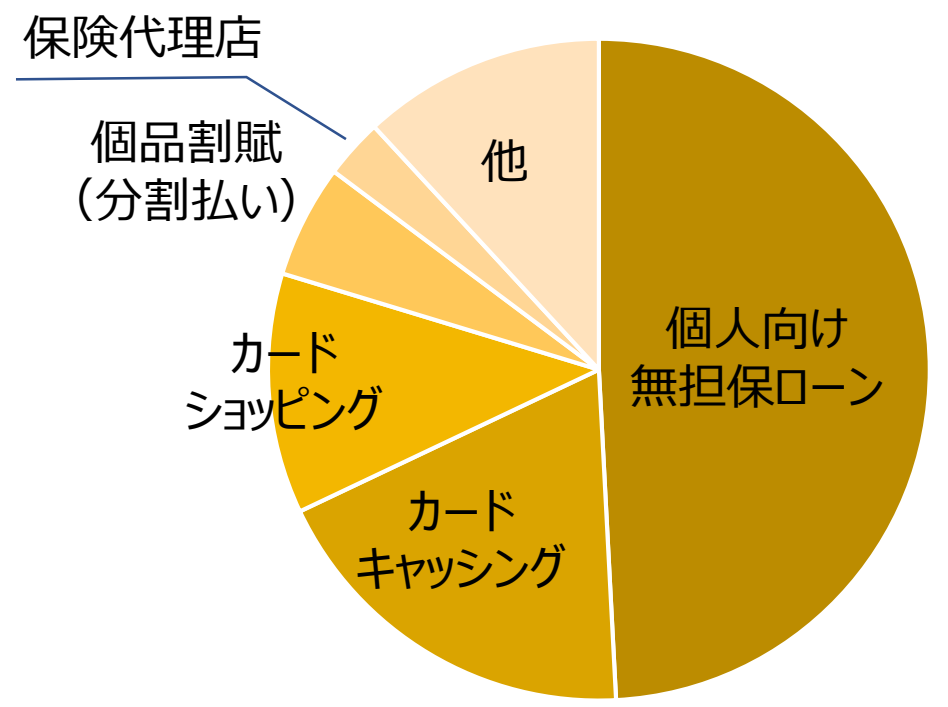
【展開国】

タイ（現地上場：AEON THANA SINSAP THAILAND PCL.）
ベトナム、カンボジア、ミャンマー、ラオス

タイの支店



2021年度営業収益：724億円



国際事業－タイでの事業の特徴

- ・個人ローン事業、クレジットカード事業はいずれもノンバンクでトップ3に入る
- ・現地大手企業との提携等によるトップラインの拡大に加えて、デジタル化で利便性、生産性を向上

現地企業との協業事例



・マイル機能付きカード



・IC乗車券機能付きカード



・買い物割引特典付きカード



デジタルの取り組み

- ・アプリ上で各種サービスの申込みに対応



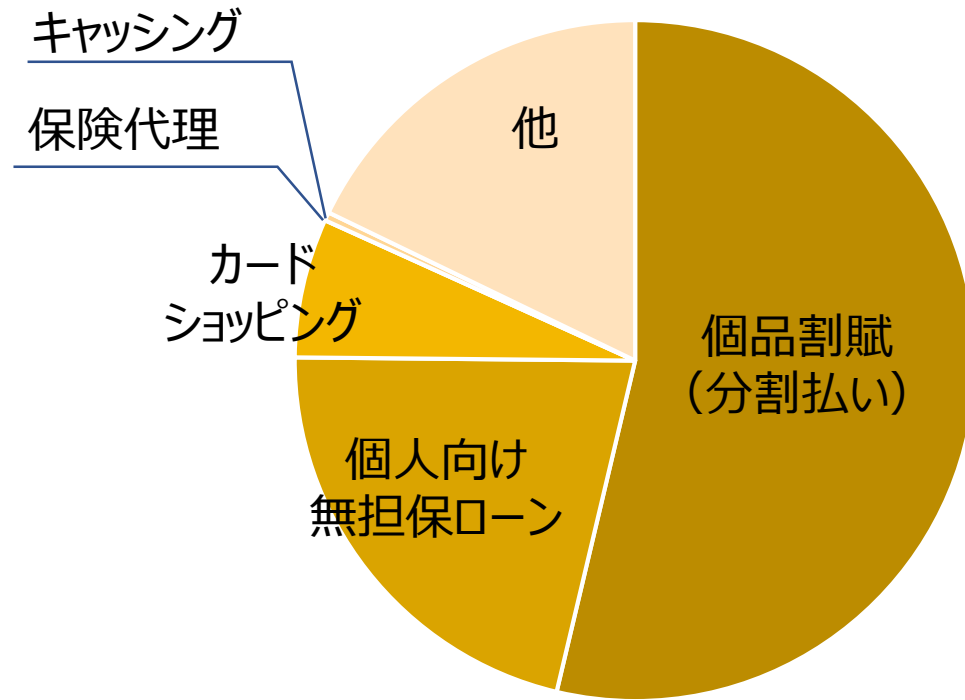
【展開国】

マレーシア（現地上場：AEON CREDIT SERVICE (MALAYSIA)）
インドネシア、インド

マレーシアの支店



2021年度営業収益：499億円

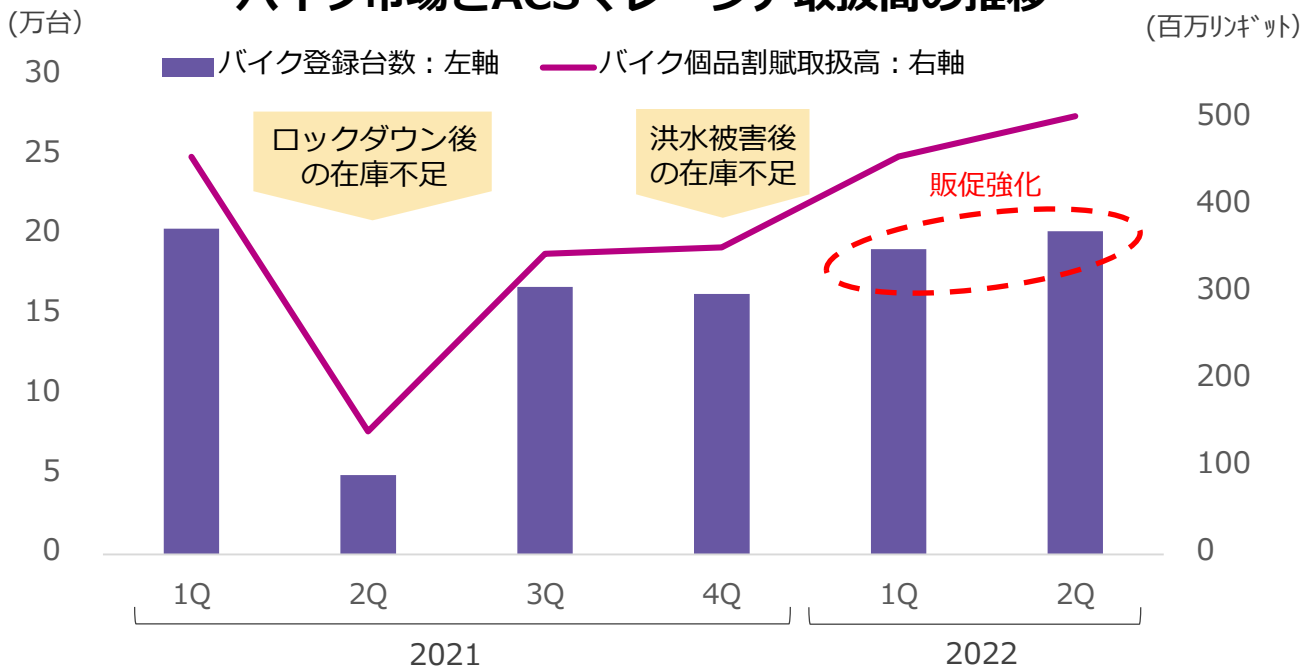


国際事業 – マレーシアでの事業の特徴

- ・ノンバンク最大手であり、バイクローンはシェアNo. 1（新車登録台数の3割弱）
- ・イオン小売事業とのアプリ、ポイントの共通化によるグループシナジーを発揮

バイク市場の動向

バイク市場とACSマレーシア取扱高の推移



イオン小売業との共通ポイント



【展開国・地域】

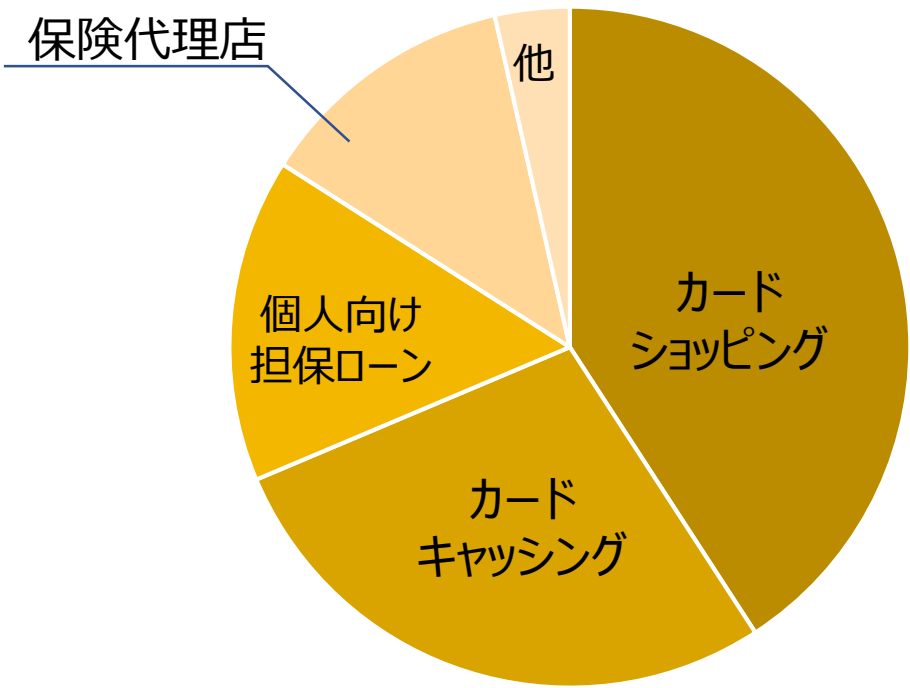
香港（現地上場：AEON CREDIT SERVICE ASIA）

中国深圳

香港の支店



2021年度営業収益：157億円



国際事業－香港での事業の特徴

- ・ 現地のイオン小売グループと協業に加えて、JALとの提携カードや日本の人気アニメの券面カード、来日利用特典付きイオンカードの発行など、日系ブランドが強み

イオンストアーズ香港との協業



お客さま感謝デー
感謝日
Thanksgiving Day

今日 会員尊享優惠
TODAY AEON Member Special

立即入會
盡享非凡優惠
Join now and enjoy exclusive privileges

95折5% OFF

AEON

独自のカードラインナップ



AEON CARD
WAKUWAKU

日本簽賬

3%
現金回贈

永久
免年費

立即申請!!

- ・ イオンカードWAKUWAKU (2022年●月 発行開始)
- ポイントでなくキャッシュバックによる還元特典
- 日本での利用で3% キャッシュバック

銀行事業（イオン銀行）

<主な業務（2022年8月末時点）>

- ・ 銀行預金：806万口座、残高総額 約4兆3,355億円

年中無休の営業店舗



- ・ 10月7日（金）に「イオン銀行 イオンモール土岐店（岐阜県土岐市）」をオープン

「オンライン相談サービス」の機能拡充



- ・ お客さまが操作する画面をスタッフがともに確認することで、わかりやすさを改善
- ・ 機能の強化により、投資信託・外貨預金・各種ローンが申込手続きまで完了することが可能に

健康増進型保険の推進

- ・イオン・アリアンツ生命保険の終身医療保険「元気パスポート」は、イオン銀行やイオン保険サービスのほか、グループ外の銀行や保険代理店での取り扱いを順次拡大中

イオン保険サービス株式会社

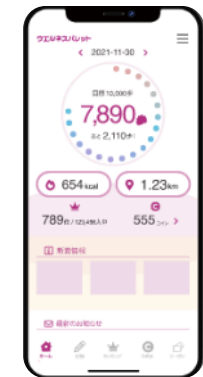


- ・年中無休で営業
- ・「オンラインほけん相談」にも注力

イオン・アリアンツ生命保険株式会社

健康増進型保険
「元気パスポート」

健康増進アプリ
「ウェルネスパレット」



健康増進活動で
健康支援金をお受取

健康増進活動でイオンで
使えるクーポンと交換
可能なコインを進呈

Ⅱ．経営環境と成長戦略

中期経営計画

第二の創業：バリューチェーンの革新とネットワークの創造

国内事業

- ① イオン生活圏の構築に向けたインフラ作り
- ② 地域・お客さまの生活インフラニーズ取込
- ③ リスク・コストコントロール能力の向上

国際事業

- ① デジタル金融包摂の実行
- ② 事業・提供商品・展開エリア拡大
- ③ 都市と地方ニーズ/エリア別戦略

国際事業 / デジタル金融包摂の実行

- ・マレーシアではデジタルバンクを通じて、お客さまの消費行動にシームレスな金融サービスを提供
- ・タイでは、データを活用した新たな審査スキームでローンを提供

デジタルバンクライセンスの取得（マレーシア）

- ・4月29日にマレーシアで初となるデジタルバンクライセンスを取得
- ・2023年度中の事業化に向けて準備中

【設立目的】

- ①

金融包摂、キャッシュレス社会の実現
- ②

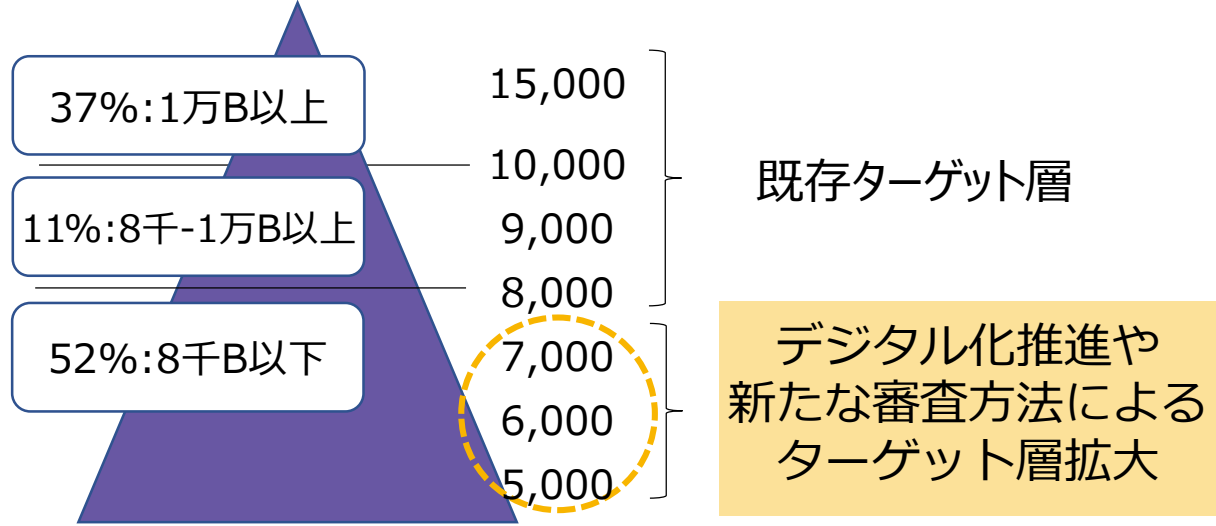
マレーシアにおけるイオン生活圏構築の基盤となる
- ③

最新のテクノロジー、AI 解析技術
オンラインサービス開発への挑戦
(将来へのスタディ)

ナノファイナンスライセンスの取得（タイ）

- ・現地の配送業者を利用している個人事業主の売上や購買履歴をAIにより分析
- ・これまでアプローチできていなかった層へローンを提供

【労働人口3,800万人の月収分布】



- ・ 保険事業の拡充や、ナノファイナンス、BNPLなどの新規サービスの導入により新たな顧客層を開拓

保険事業の拡充

タイ：保険販売の拡大によるクロスセルを実現

- ・ **Big-Cグループ**の店舗における保険販売によって、店頭受付チャネルを約30→150カ所へ拡大
- ・ 加えて、**アプリでの保険販売（がん医療、旅行、自動車）を開始**



マレーシア：保険事業の拡充

- ・ **保険仲立人会社を買収し、同事業へ参入**
- ・ 保険代理店から仲立人への事業転換により、**取扱保険ラインナップを拡充**
- ・ マレーシアのイオングループ顧客に**包括的な金融サービスを提供**

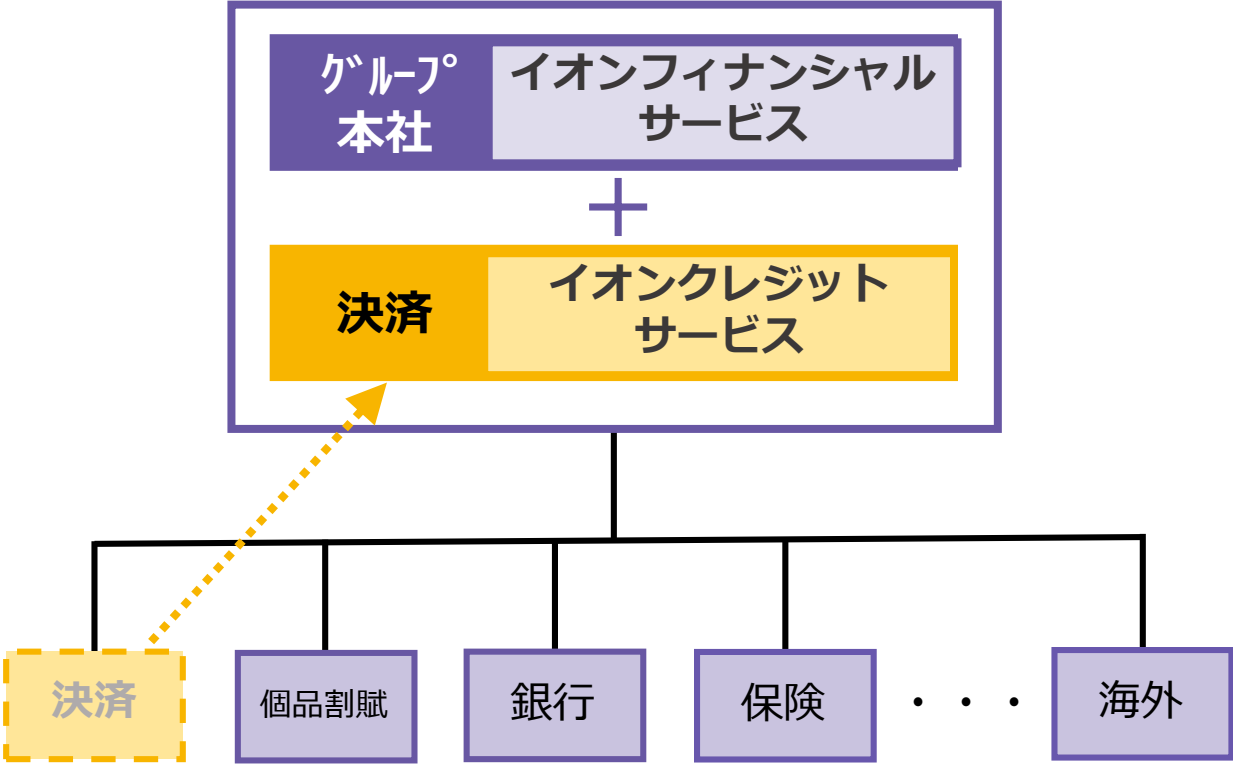
BNPLサービスの拡充

- ・ インドネシアQRコード統一規格（QRIS）の加盟店ネットワークへ接続し、BNPLサービスが展開出来るよう準備中
- ・ また、大手ECサイトなど、**提携先の拡充を図る**

国内事業 / イオン生活圏の構築：事業再編による体制整備

- ・ リソースの集約と顧客の創造を推進するべく、決済事業を中心に再成長ステージへ移行

<事業再編図>



→マーケティング及びイノベーションの機能はグループ横断で活用

再編の目的

グループシナジーの最大化
⇒お客さまの生涯価値最大化

決済事業の成長加速に向け
お客さまに最も支持される企業へ進化

+

IDや加盟店ネットワークの拡大に向け
重点部門に経営資源を投下

国内事業 / イオン生活圏の構築：グループ共通のポイント

- ・ 決済手段ごとに異なっていたポイント制度を一本化し、利便性が向上
- ・ 物価上昇による家計防衛意識の高まりや外出消費の回復など、2 極化するお客さまニーズへ対応

ポイント制度の変更（2021/9/11～）

変更前

クレジット・デビット でのお支払い	電子マネーWAON でのお支払い*1	現金でのお支払い (カード提示)
 ときめきポイント	 WAON POINT	 WAON POINT



変更後

クレジット・デビット でのお支払い	電子マネーWAON でのお支払い*1	現金でのお支払い (カード提示)
 WAON POINT		

ポイント販促による新規入会、利用促進

イオンカード 新規入会キャンペーン

Web限定

対象カード新規ご入会・ご利用抽選で

WAON POINT

最大 **21,000** ポイント進呈!

入会金 年会費 **無料**



※適用には条件がございます。詳細・条件を必ずご確認ください。

東北電力 POINT還元キャンペーン

…電気料金のお支払い、口座引落とししていませんか?… **要応募**

東北電力電気料金のお支払いはイオンマークのカードがオトク!

抽選で2,000名さまに **東北電力の電気料金を新規にイオンマークのカード払いにすると**

最大 **1,000** **WAON 還元 POINT 元!**

NEXCO東日本 ETC利用キャンペーン

イオンE-NEXCO passカード(WAON一体型) **要応募**

秋のETCご利用キャンペーン

抽選で500名さまへ **ETCご利用 10% 分の WAON POINT プレゼント!**

※ポイント進呈の上限は3,000WAON POINT(ETCご利用30,000円(税込)まで)となります。

国内事業 / イオン生活圏の構築：ID数及びネットワーク拡大

- ・イオングループ内外での連携強化により、グループ共通ID数と加盟店ネットワークを拡大

イオンウォレットへの「AEON Pay」機能の搭載

AEON Pay 加盟店ネットワークの拡大

2025年度目標 400万カ所

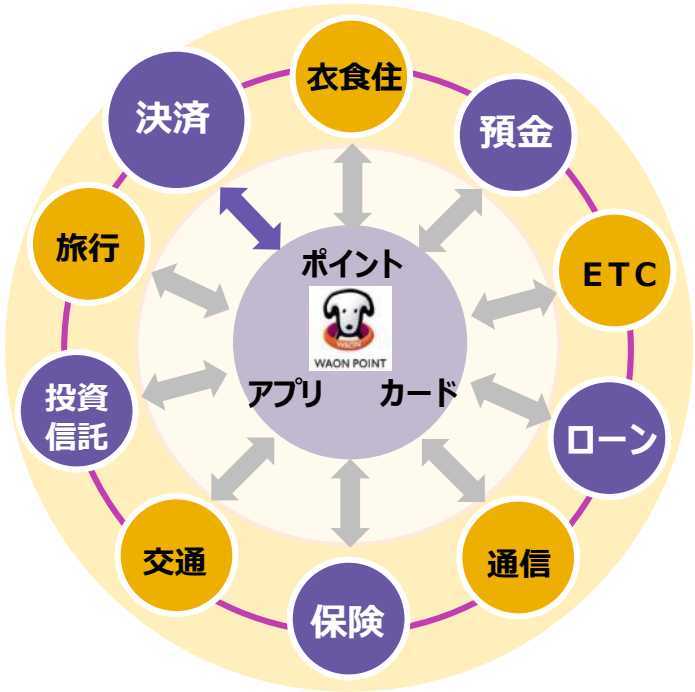


アプリの主な機能

- ご利用明細
- ポイント管理
- クーポン受取 等

+ **コード決済**

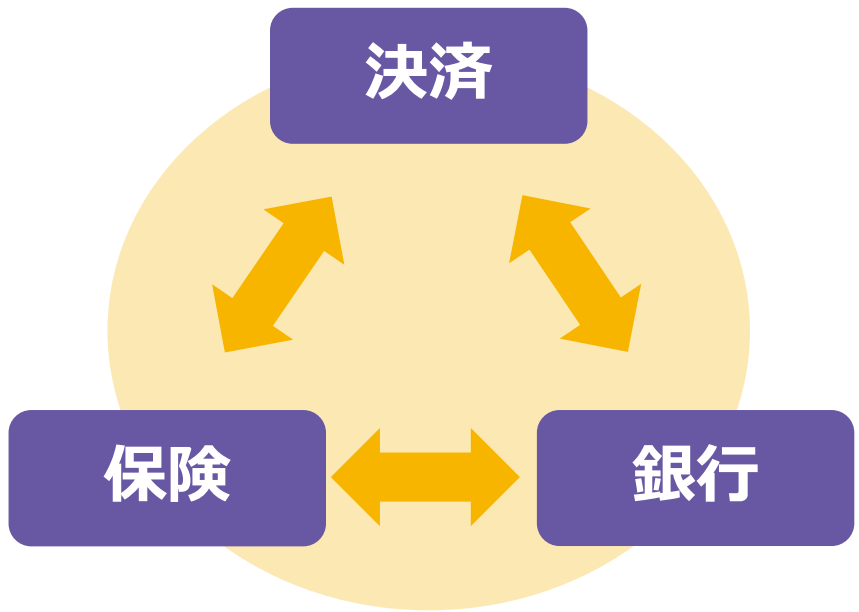
グループ共通
ID数を拡大



国内事業 / イオン生活圏の構築：クロスセルの推進

- ・住宅ローンご利用特典を拡充、契約時から完済までイオン店舗でいつでも5%割引

決済をフックに、銀行や保険等の
商品・サービスのクロスセルを推進



イオンセレクトクラブの特典拡充（'23/3～）

ローン完済まで 割引適用
年間割引上限 **無制限**



住宅ローンの取扱高拡大
×
イオンカードの利用促進

イオン銀行住宅ローンご契約者さま限定特典

もっと！
イオンセレクトクラブが
おトクに変わります！

イオンでのお買い物が専用カードのクレジット払いで
住宅ローンご完済まで ずっと 毎日5%OFF になります！
住宅ローンのお借入れで生活費がこんなにオトクに！

例えば毎月イオンでのお買い物が75,000円の場合		
食費	毎月	約50,000円
衣料費	毎月	約15,000円
日用品	毎月	約10,000円

↓

1年間で 約45,000円もおトクに！

今までは / **5年間で 約225,000円もおトクに！**

これからは / **35年間で 約1,575,000円もおトクに！**

サステナビリティ / 基本方針の制定・マテリアリティの特定

- ・ 2021年11月に「サステナビリティ基本方針」を制定
- ・ 4つのマテリアリティ（重要課題）を特定

持続可能な社会の実現を通じた「平和」への貢献		16 平和と正義 すべての人に	SDGs との関連性
人権	革新的な金融サービスを 通じた幸せの追求	・顧客責任 ・フィナンシャル・インクルージョンと金融教育 ・技術革新とイノベーション ・サステナブルファイナンス ・地域社会への貢献	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 7 持続可能なエネルギーを 9 産業と雇用創出を 10 人や国ごとの格差をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを
	人材の多様性と 可能性の発揮	・ダイバーシティ&インクルージョン ・人材の確保と維持、人材開発 ・労働慣行 ・労働安全衛生	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがい、経済成長を 10 人や国ごとの格差をなくそう 16 平和と正義をすべての人に
レジリエントな経営基盤の確立		・企業倫理とコンプライアンス ・情報セキュリティ ・コーポレートガバナンス ・リスクマネジメント ・ビジネスモデルのレジリエンス ・サプライチェーンマネジメント ・ステークホルダーエンゲージメント	9 産業と雇用創出を 10 人や国ごとの格差をなくそう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
気候変動等への対応		・気候変動への対応 ・資源の有効活用	11 住み続けられるまちづくりを 12 つくばるべきものを循環させよう 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進しよう

サステナビリティ / 活動事例

- ・ ACSマレーシアでは、市場や飲食店等を営む個人事業主、約180万名が登録する小規模事業者協会と提携し、電子マネーを活用した小規模事業者への事業支援を実施

金融リテラシー教育の実施（国内）

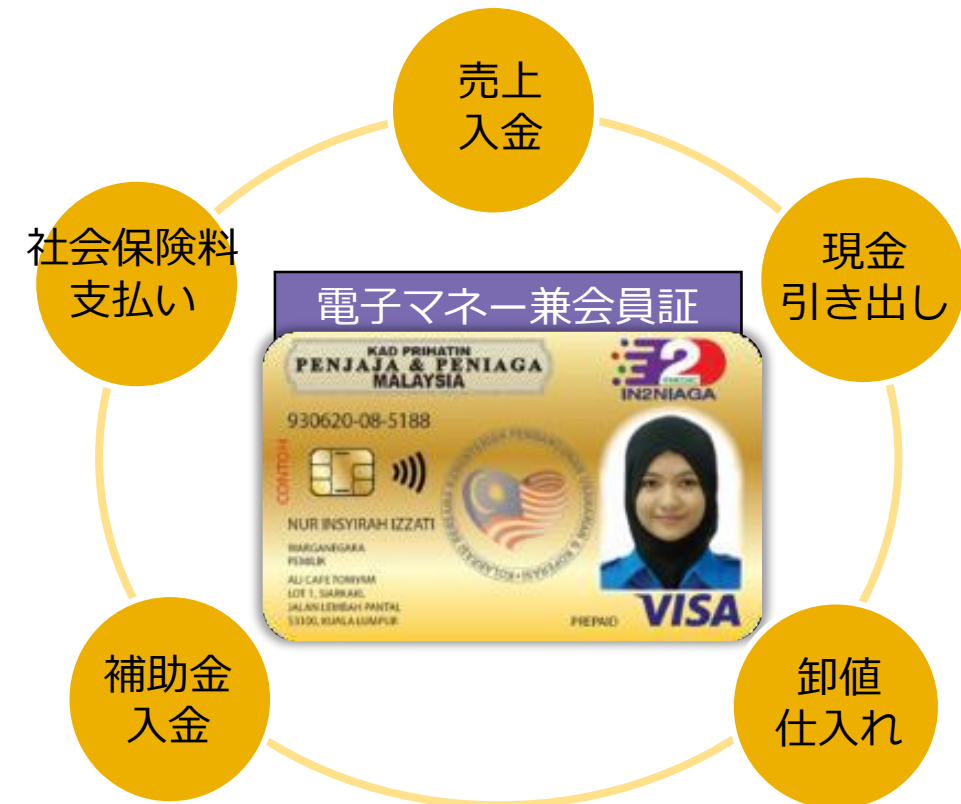
2018年以降、クレジットカードや銀行サービスについて、イオングループ各社に加え、大学、高校、専門学校で金融リテラシー教育を実施

累計**150校**以上、延べ**7,000**名以上に講義

【イオンクレジットサービス】金融リテラシー教育風景



小規模事業者支援（マレーシア）



コーポレート・ガバナンス強化の取組み

- ・ 独立役員による客観的、中立な経営監視機能が十分に機能する体制を整備
社外取締役の割合は3分の1以上
- ・ 親会社との利益相反取引を監視することを目的に、社外取締役で構成する
特別委員会（取引等審査委員会）を設置

	取締役	監査役
人数	12名	4名
内、社外役員	4名 (内、女性1名)	3名 (内、女性1名)
内、独立役員	4名 (内、女性1名)	2名 (内、女性1名)

【インデックス】

■イオンフィナンシャルサービス



2022



Sompo Sustainability Index

【DX認定】

■イオンクレジットサービス

■エー・シー・エス債権管理回収



DX認定

【外部評価】

■イオンクレジットサービス（マレーシア）

- ・ FTSE社によるESG格付では最高ランクの4つ星評価
- ・ さらに、同格付で高評価の200社で構成される「FTSE4Good Bursa Malaysia Index」に、2015年以降8年連続で選定



FTSE4Good

■イオンフィナンシャルサービス

- ・ GPIFが採用するESG指数の1つである「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



2022
健康経営優良法人
Health and productivity



Ⅲ．業績予想と配当方針

業績予想/中期計画業績目標

2022年度
(計画)

営業収益

4,450億円

営業利益

550～600億円

親会社株主に
帰属する
当期純利益

270～290億円



2025年度
(目標)

営業収益

7,600億円

営業利益

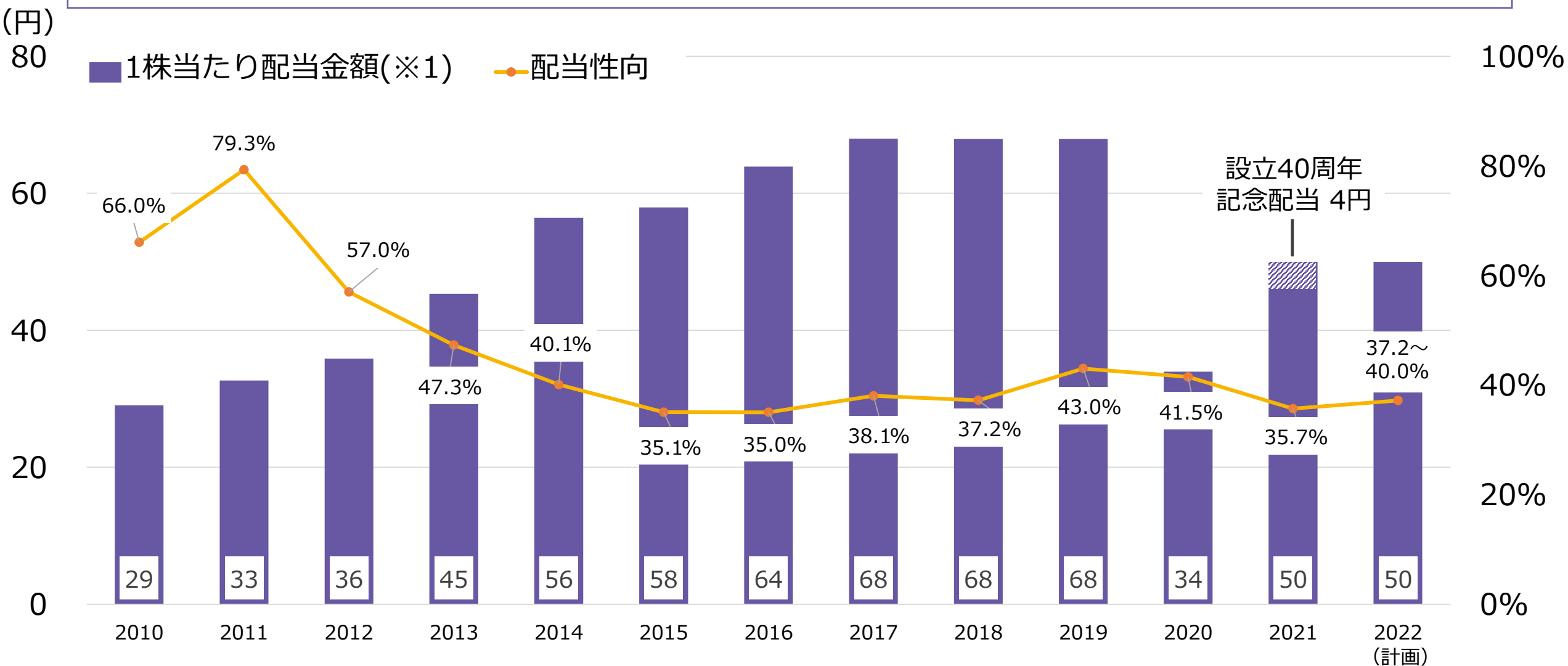
1,000億円

営業利益比率
国内：海外

40% ： 60%

配当方針

配当の基本方針：配当性向1/3程度を維持、2022年度は普通配当4円増配予定



■ 当社コーポレートサイトに個人投資家の皆さまに向けたコンテンツを掲載



①「株主・投資家情報」



②「個人投資家の皆さまへ」

※本日の説明資料は後日
「個人投資家向け説明会」ページに
掲載いたします



イオンフィナンシャルサービス

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクをはじめとする様々な不確定要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。